

# 経済・金融 フラッシュ

## 商業販売統計 10年6月 ～小売業は、底堅く推移

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

### 1. 小売業は、底堅く推移

小売業及びコンビニエンスストア販売額(増減率)

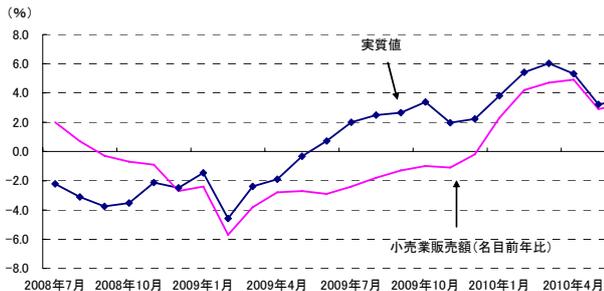
7月29日に経済産業省から公表された10年6月の商業販売統計速報によると、小売業販売額は前年比3.2%の11兆40億円と、6ヵ月続けて増加した。季節調整済前月比では0.4%の増加となった。物価変動の影響を除いた実質値(当研究所試算値)では前年比3.5%と、13ヵ月連続の増加となり、増加幅は3ヵ月ぶりに拡大した。

	小売業								コンビニエンスストア販売額	
	前月比	前年比	大型小売店				スーパー		前年比(既存店)	前年比(既存店)
			前年比(既存店)	百貨店		スーパー				
				前年比	前年比(既存店)	前年比	前年比(既存店)			
09年4月	0.5	▲2.8	▲5.0	▲6.7	▲12.0	▲11.3	▲0.8	▲3.9	6.5	4.0
5月	0.1	▲2.7	▲4.5	▲6.4	▲12.7	▲12.1	0.5	▲3.0	3.1	0.8
6月	▲0.1	▲2.9	▲5.2	▲6.8	▲10.1	▲9.1	▲2.2	▲5.4	0.9	▲1.7
7月	0.4	▲2.4	▲7.0	▲8.4	▲12.8	▲11.8	▲2.9	▲6.0	▲5.1	▲7.5
8月	0.5	▲1.8	▲5.0	▲6.8	▲10.3	▲8.9	▲2.3	▲5.7	▲3.0	▲5.6
9月	0.6	▲1.3	▲4.2	▲5.6	▲9.5	▲7.8	▲1.1	▲4.3	▲2.4	▲5.7
10月	▲0.6	▲1.0	▲6.4	▲7.2	▲12.3	▲10.6	▲2.7	▲5.2	▲2.9	▲5.6
11月	0.0	▲1.1	▲9.0	▲9.7	▲13.5	▲11.8	▲6.1	▲8.3	▲3.6	▲6.4
12月	▲0.3	▲0.2	▲4.2	▲4.6	▲7.0	▲5.1	▲2.3	▲4.3	▲2.8	▲5.7
10年1月	2.0	2.3	▲5.1	▲5.7	▲7.4	▲5.7	▲3.7	▲5.7	▲2.5	▲5.5
2月	0.9	4.2	▲3.4	▲4.0	▲7.4	▲5.3	▲1.2	▲3.3	▲1.8	▲4.9
3月	0.8	4.7	▲4.1	▲4.9	▲5.6	▲3.6	▲3.2	▲5.6	▲2.4	▲5.1
4月	0.5	4.9	▲3.1	▲3.7	▲6.0	▲3.7	▲1.5	▲3.7	▲1.2	▲3.9
5月	▲2.0	2.9	▲3.2	▲3.9	▲4.1	▲2.1	▲2.8	▲4.8	▲0.8	▲3.7
6月	0.4	3.2	▲2.4	▲3.0	▲7.4	▲5.7	0.4	▲1.5	1.2	▲1.4

(資料) 経済産業省「商業販売統計」

業種別では、前年比▲3.7%と、08年4月以降減少が続いている各種商品小売業を除いて、公表されている7業種中6業種で増加となった。また、自動車小売業が前年比12.4%(5月:13.4%)、機械器具小売業が前年比4.9%(5月:5.9%)と高い伸びを維持したものの、エコカー減税、エコポイントなどの政策効果が一巡しつつあることから増加幅は前月から縮小した。寄与度別では、自動車小売業が1.4%、燃料小売業が0.8%、機械器具小売業が0.3%消費を押し上げた。

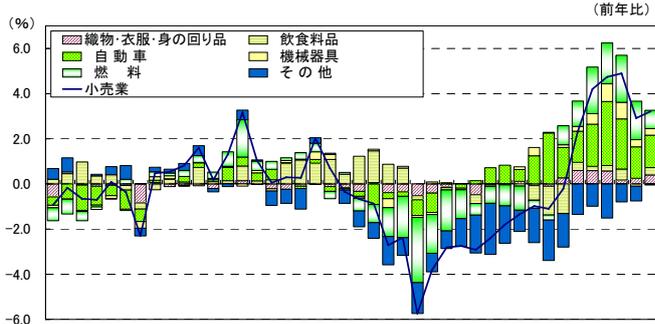
小売販売額の推移



(資料) 経済産業省「商業販売統計」

(注) 実質値については、消費者物価指数(「財」から「電気・都市ガス・水道を除いたもの」)により実質化  
10年6月については当社予測値にて実質化

小売業販売額(業種別寄与度)

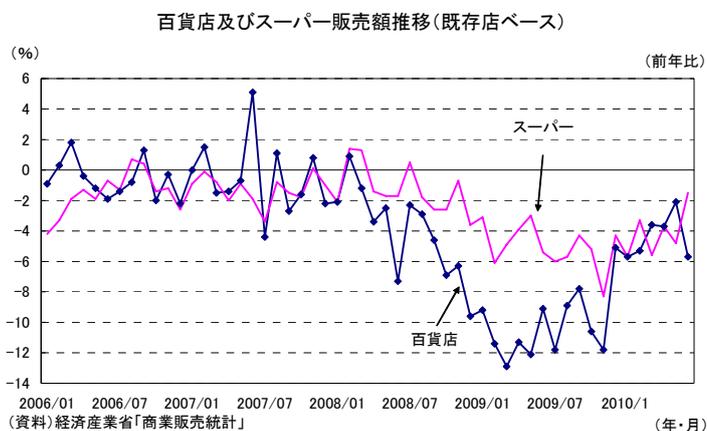


(資料) 経済産業省「商業販売統計」

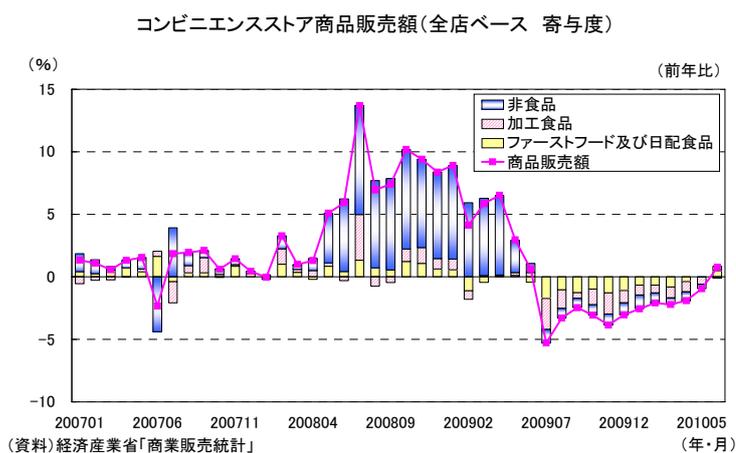
## 2. コンビニ商品販売額は1年ぶりに前年比増加

10年6月の大型小売店の販売額（百貨店とスーパーの合計）は1兆5637億円、既存店ベースで前年比▲3.0%となり、27ヵ月連続して前年を下回った。百貨店は、このところ減少幅の縮小基調が続き下げ止まりつつあったものの、前月から悪化幅が大きく拡大した。

百貨店販売額（既存店）を商品別にみると、紳士服・洋品が前年比▲6.2%、（5月：同▲2.9%）、婦人・子供服・洋品が前年比▲4.9%（5月：同▲1.8%）となるなど、販売額の4割強を占める衣料品全体で減少幅が拡大（5月：前年比▲2.5%⇒6月：同▲5.5%）した。その他の商品では、家庭用電気機械器具が前年比0.9%（5月：同▲12.9%）と増加したものの、飲食料品（5月：前年比2.5%⇒6月：同▲7.9%）は減少に転じた。



コンビニエンスストア販売額（商品販売額及びサービス売上高）は6692億円、前年比1.2%（全店ベース）と09年6月以来1年ぶりに増加に転じた。商品別では、非食品（前年比▲0.3%、5月：同▲1.1%）で減少が続いているものの、ファーストフード及び日配食品（前年比1.4%、5月：同▲0.1%）、加工食品（前年比1.2%、5月：同▲1.8%）では増加した。



最近の個人消費は、エコポイント、エコカー減税等の政策効果は一巡しつつあるものの、底堅く推移している。先行きについては、雇用・所得環境に改善の兆しが見え始めていることから、消費者態度指数が6ヵ月連続して上昇するなど消費者マインドが改善傾向となっており、緩やかな回復が続く公算が大きい。